

ヘルスツーリズム研究会 講演内容まとめ

— 特定非営利活動法人日本ヘルスツーリズム振興機構 —

(発表日 第8回研究会 2007年1月18日)

1. 講演タイトル: ヘルスツーリズムとファーストエイド教育

2. 所属機関および発表者名: (株)JALUX 木村 好延

3. 講演概要 ※記述はフォントサイズ (MS P明朝・11サイズ/50文字×30行以内、「である」調) でお願ひします。

標記のタイトルで、一商社がヘルスツーリズムにどのように関わっているかを紹介する講演をおこなった。

<概要>

- ① 一般市民誰でもが使えるようになった AED という医療機器の概要説明
- ② AED の街中での普及状況
- ③ AED の普及と抱える課題
- ④ AED を販売する商社がその使い方を含むファーストエイド教育を事業化した経緯
- ⑤ ファーストエイド教育の目指すところ
- ⑥ ファーストエイド教育に取り組む様子と教育内容
- ⑦ ヘルスツーリズムとファーストエイド教育の関わり
- ⑧ 旅行業界をサポートする現状 等

AED(自動対外式除細動器 Automated External Defibrillator)とは、突然に心臓発作を起こした人に電気ショックをあたえて発作を取り除くための医療機器である。最近の発表を見ると、人が多く集まる場所(空港、鉄道の駅、商業施設、イベント会場、公共施設など)を中心に、全国に9万台程度が配備されるところまで普及が進んできている。そのAEDを正しく使うためには、極力早く使わなくてはならないし、更に、より効果を高めるためにはファーストエイド(心肺蘇生法)の知識も必要である。しかし現状としては、ここまでの知識を持ちAEDを使える人はまだまだ少なく、機器の普及と使う人の養成がともなっている状態とは言えない。そこで、AEDを販売し普及を促進している商社の立場として、正しく使える人を増やしていくことの必要性を痛感し、東京慈恵会医科大学の監修と日本光電の協力を得て、これを事業化して教育を広めていくこととした。おこなう講習の内容は、AEDの使い方を含むファーストエイド教育を基本としているが、各種業界の要請にも応じられるよう幅を持たせたものとしている。ヘルスツーリズムの観点から旅行業界に対しては、トラベルメディスンやバリアフリー教育を加えた講習会を開催し、今までに航空会社、鉄道会社、船舶会社、ホテルのスタッフや、旅行会社の添乗員の方々へ講習をおこなってきた。目指すところは、旅のイメージを更に向上させるために、安全で健康な旅を提供できるような人材の育成援助をおこなうことであり、結果として、ヘルスツーリズムの一助になればと活動しているところである。

以上

※参考図表・写真等はこの枠内に貼り付けてくださいますようお願いいたします。